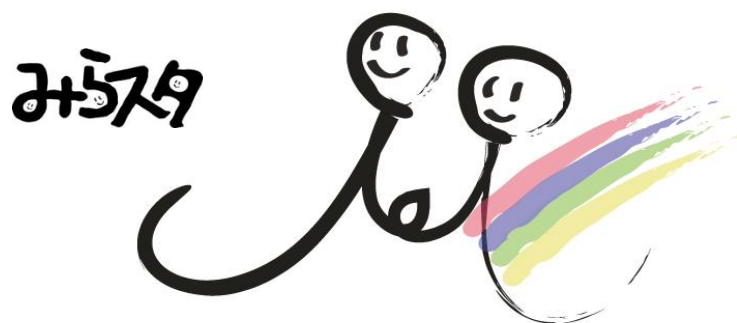


学校と共に
探究・キャリア教育・国際理解教育を実践する



NPO法人 未来をつかむスタディーズ

世界に向かって視野を拡げ 未来に向かって可能性を拓く
グローバル時代に 誰もが自分らしく生きていくために
私たちは学校と共に授業を実践しています

誰もが自分らしく生きている
個性や可能性を最大限に発揮して生きている
それでいて調和している
それが私たちの描く未来です

そのために、学校と世の中、世界をつなぎ
学生が多様な人生モデルに触れる機会をつくる
それが私たちの使命です

自分らしく生きる
それは、生涯を通じて探求していくことかもしれません
生徒が自ら獲得していくべきものだと思います
だからこそ、その学びは学生のうちから始めるべきだと思うのです

人はどうやって自分らしさを発見していくのでしょうか
たくさんの人や価値観に触れて、自己を顧みる
シンプルですが、確かな方法だと思います

中学生や高校生、大学生、彼らはすでに生き方の模索を始めています
自分は何になりたいのか
何に向いているのか
将来どんなことが出来るのか
でも、彼らには多様な価値観に触れ、自己を顧みる機会が極めて少ない

異文化や異価値に出会うことで
自分の立ち位置が鮮明になることがあります
多様な人生モデルに触れることで
自分の進むべき未来が拓かれることがあります

生徒一人ひとりが、世界に向かって視野を拡げ、未来に向かって可能性を拓く
そのきっかけとなる授業を、私たちは学校と共に実践していきます



1. My Life 「人生ライブ」リレー講座

多様なバックグラウンドを持つ大人が、彼らの人生観や職業観、世界のことなどについて、本気で、本音で語ります。

生徒は、講師の話と自分の考え方や行動・価値観と照合することで、自分の生き方や現在の学びを見つめ直します。

My Life は講師の人生と、生徒の人生、双方を意味します。

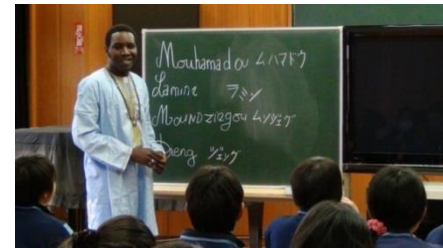
【実施例】My Life 「未来（キャリア）」

- 「セーターを作る過程にも喜びや苦しみがある」 アパレル会社勤務
- 「君たちは何でもできる時代に生きている」 ITプログラマー
- 「自動車営業20年で分かったこと」 自動車販売会社営業
- 「法律家という仕事」 弁護士
- 「伝える仕事を続けたい」 アナウンサー
- 「私の生き方」 建築士
- 「日本に誇りを取り戻す」 社会起業家
- 「サラリーマンから独立」 コンサルタント
- 「大学受験はゴールじゃなかった」 現役大学生



【実施例】My Life 「世界（グローバル・多文化共生）」

- 「ペルーはどんな国？日系人って何？」 ペルー人・日系ブラジル人
- 「アメリカという国と文化」 アメリカ大使館勤務
- 「イスラム教とはどんな宗教」 ムスリム
- 「難民を支援するとは」 社会起業家
- 「アフガニスタン講座」 アフガニスタンルーツ
- 「ガーナと日本のハーフとして」 元Jリーガー
- 「陶芸家としてエジプト、コロンビアへ」 陶芸家
- 「アフリカから日本へのメッセージ」 セネガル人
- 「多文化共生とは」 外国人相談窓口スタッフ



「学生時代の生活・夢」「人生の選択・決断」「現在の職業に就いた経緯」
「仕事の喜び、厳しさ、失敗、成功」「世界で起きていること」
「国際社会で生きるためには」「現在の学びと未来」などを実体験を交えて伝えます。
たとえば月1回、年間10人の多様な講師の人生に触れることで、生徒が自分の興味関心の方向性に気づき、個性や可能性を育むきっかけにします。

☆いろんな職種、外国人、国際キャリア、多様な講師を揃えています。

生徒の声

- ・会社で働いてみたいと初めて思った。でも今は、目の前のことをがんばる。
- ・過酷な体験もプラスに変える生き方に感銘を受けた。弱音なんて吐いてられない！
- ・人のことばかり気にしていた気がする。自分の幸せも大切に生きていこう。

2. 交流・ワークショップ

「環境、人権、国際理解、多文化共生、地球規模の課題、SDGs」
「生き方、キャリア、自分の個性・可能性」など、
テーマによっていろんな手法を用いて授業をしています。

【実施例】

今、SDGsワークショップがアツい!!

■ワークショップ

「貿易ゲーム2030」世界経済、地球規模の課題からSDGsの必要性を考える
「SDGs & Me」SDGsを自分ごと化する
「My Life」生徒それぞれの個性・可能性に迫り、生き方・キャリアを考える

※貿易ゲーム2030

イギリスNGOクリスチャン・エイドのオリジナル
「貿易ゲーム」のコンセプトをそのままに、
2030年をゴールとする「持続可能な開発目標」
＝「SDGs:Sustainable Development Goals」の
理解が深まるよう、みらスタがアレンジしました。
クリスチャン・エイドの承認を得て実施しています。
小学5年生くらいから中学生、高校生、大学生、
大人まで、参加者に合わせて実施できます。



■世界の文化体験講座

- ・ペルー料理を作ろう (ペルー人講師)
- ・パスタを作ろう (イタリア人講師)
- ・アングルンを弾いてみよう (インドネシア人講師)
- ・イランの学校生活 (イラン人講師) など多数



■修学旅行の事前講座・事後講座

ベトナム、マレーシア、韓国、イタリアなど
旅行先の出身者や、現地での仕事や活動の経験者が講師となり、
旅のおすすめ、注意事項、リアルな裏話などを伝えます。
旅行へのモチベーションを高めます。
帰国後は事後講座で学びを深め、体験をしっかりと伝えられるようにします。

生徒の声／先生の声

- ・SDGsって何だろうと思っていたけど、教室が世界になって、自分たちで活動しながら学べたので、世界の動きがよく理解できた。
- ・「支援とは自尊心を育てること」私の中で国際問題に対する考え方がはっきりした。
- ・なんのために大学に行くのか、大学で学ぶイメージができた。
- ・世界の遠い国の課題を、これほど生徒に自分ごととして捉えさせるワークショップは体験したことがなかった。教員としても学ぶことが多かった。(先生)
- ・中学生や高校生の発想に触れて、純粋に、負けていけない!と思った。(大学生)

3. みらスタ Challenge!!

地域社会、企業、グローバル社会の課題を解決するための学びを実践します。これらの課題を発見し、考察し、その解決策を作り上げる過程そのものが体験型の学びPBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）になります。プレゼンテーション大会でコミュニケーション力の向上も図ります。

【実施例】

- 地域社会、企業、大使館などから課題の出題
 - 例「遊休不動産の活用法を提案せよ！」
 - 例「移民の学校の支援案を考えよ！」
 - 例「パラリンピックを盛り上げる企画を提案せよ！」
- ↓
- 課題の背景、現状を学ぶ
- ↓
- 提案のためのグループ活動
- ↓
- 解決策の企画立案
- ↓
- プレゼン準備
- ↓
- プレゼンテーション大会



- ☆グローバル課題バージョン
- ☆地域社会課題バージョン
- ☆企業課題バージョン
- ※新しい高大連携の形も！
- 大学教授からの課題を、大学生と中高生と一緒に考えてアイデアを出し、プレゼンテーションする講座も実施しています。



☆ 留学紹介プログラム

アメリカ大使館との協働で、アメリカ留学紹介プログラムを実施しています。実施した学校にはきめ細やかに留学に関する情報をお届けします。中高生対象。学校の費用負担はありません！

イベントタイムテーブル	
開始挨拶	5分
豆夢（TOM）君プレゼンテーション	10分
留学経験者スピーチ	10分
アメリカ留学に関するクイズ	10分
質問コーナー	10分
メッセージムービー・写真撮影	5分



【豆夢（とむ）くん】
米国大使館公式
ソーシャルメディア
親善大使

学校の先生方への研修を実施しています。

国際理解や異文化理解、多文化共生等の分野におけるワークショップ手法やネタの紹介、心に響くプレゼンテーションの作り方、ファシリテーションスキルなど、普段の授業とは違う切り口で、先生方の授業実践の幅を広げるお手伝いをします。

【実績】鎌倉市社会科研究会、横須賀市教育委員会、藤沢市国際理解研究会、私立中学校・高校、JICA出前講座研修、など

【プログラム】プレゼンスキル、ファシリテーションスキル、国際理解教育の手法、フォトランゲージ、多文化共生についての講演、など



先生の声

- ・参加型手法にもいろんなパターンがあることを学べた。さっそく実践してみたい。
- ・もっと世の中を知って、まずは自分の幅をひろげなくては！
- ・偏見のない子たちに育ったのは、2年間、いろんな価値に触れてきたことが大きい。

スタディツアー・修学旅行

高校生、大学生を対象としたスタディツアー事業です。

現地の人々との交流や協働を体験して、その振り返りもしっかりと実施するみらスタならではのツアーを用意します。

海外はタイ、カンボジア、ベトナムのツアーを準備しています。独自のネットワークで、現地で活動するNGOと密に連携してプログラムをつくっています。事前講座・事後講座の実施も合わせて、研修旅行（修学旅行）の意義を深めていきます。



実績

☆学校での授業実績 2019年累積、実施校100校・授業数1,000コマ到達

【2011年度】	実施校	1校	授業数	18コマ
【2012年度】	実施校	6校	授業数	35コマ
【2013年度】	実施校	10校	授業数	43コマ
【2014年度】	実施校	12校	授業数	94コマ
【2015年度】	実施校	21校	授業数	115コマ
【2016年度】	実施校	20校	授業数	156コマ

※2017年度より連続講座を中心に実施

【実施校】 (公立) 岩手県立遠野高校、宮城県立富谷高校、埼玉県立草加南高校、埼玉県立岩槻高校、東京都立世田谷総合高校、千葉県立幕張総合高校、横須賀高校、七里ヶ浜高校、保土ヶ谷高校、大和南高校、金沢高校、みなと総合高校
(私立) 橘学苑中学高校、逗子開成高校、関東学院六浦中学高校、公文国際中学高校、聖徳学園高校、西武台千葉高校、クラーク記念国際高校 (東京・横浜・秋葉原キャンパス) 法政国際高校、武蔵野大学附属千代田高校、郁文館高校、郁文館グローバル高校、聖学院中学高校
(大学) 横浜国立大学、鎌倉女子大学、関東学院大学、専修大学、昭和女子大学、慶応大学、目白大学 など

※小学校・中学校・高校・大学、ご縁と口コミで活動を広げています。

☆交流・イベント事業実績

- 【2013年度】 青年海外協力隊神奈川県OB会総会講演会
- 【2014年度】 橘学苑中学高等学校文化祭、よこはま国際フォーラム
関東学院大学社会学部創設記念多文化共生フォーラム
- 【2015年度】 地球市民かながわプラザ全国規模シンポジウム
- 【2016年度】 アメリカ大使館「留学紹介プログラム」
アジア開発銀行「エコ×江戸×アジア」
関東学院大学「難民問題 ー今、私達にできることー」
みらスタ5周年記念フォーラム など

費用(学校向け)

単発の講演・ワークショップは3万円から承っておりますが、学校の事情に合わせて柔軟に対応致します。カリキュラム策定、連続講座、教員研修等は、ご相談ください。 6

みらスタ概要

会社名	NPO法人 未来をつかむスタディーズ
事業概要	学校におけるキャリア教育・グローバル教育の実践と推進 多様なセクターと協働して学校と世の中をつなぐ教育活動
沿革	2011年2月 活動立上げ 7月 鎌倉市内中学校で授業スタート 11月 政策学校一新塾 主体的市民賞受賞 2012年 学校での連続講座スタート 2014年 NPO法人化 2015年 大使館、企業等との協働を開始 2017年 授業実績累計50校、500コマ到達 大使館、企業・団体等との協働プログラム実践中
主要協働先 支援機関	JICA国際協力機構、アメリカ大使館、カナダロイヤル銀行、公益社団法人青年海外協力協会、株式会社ストーリーデザインハウス、日本スポーツ振興センター、ピーノーン・ラーニング・センター(タイ)、キリロム工科大学(カンボジア)、Anihapi(ベトナム)など
会員 スタッフ	公務員、イベント会社勤務、保育園園長、弁護士、商社マン、医師、中小企業診断士、茶道教授、学校教員、世界銀行勤務、JICA出身など、多様なメンバーで構成
代表紹介	河内智之 95-96 株式会社さくら銀行(現三井住友銀行) 97-99 JICA青年海外協力隊:グアテマラ共和国野球連盟所属 ナショナルチームコーチとして活動 99-02 法律事務所、大学受験予備校 03-10 有限会社理創塾:中高生への学習・進路指導、塾運営 11-15 地球市民かながわプラザ:多文化共生事業責任者として 外国人公共施策、国際理解イベント企画運営 11-17 NPO法人未来をつかむスタディーズ代表理事
事務所	〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目26-7ビクセル新宿1F
連絡先	電話:090-9343-2875 メール: info@mirasuta.net
HP	http://www.mirasuta.net/ 「みらスタ」で検索!

